

2019/3/15

神代植物公園

植物多様性センターの「フキノトウの女の子」

フキノトウはキク科の多年草フキの花茎にあたりますが、じつは女の子と男の子の2種類があります。つまりフキは草本では珍しい雌雄異株で、それぞれのフキノトウにも雌雄があるのです。男の子は花の後はそのまま枯れますが、女の子の方は大きく成長して、純白のふわふわの冠毛を持つ種子ができます。奥多摩ゾーン落葉広葉樹林エリアのクヌギの下に、今年フキノトウの雌株が見つかりましたので、楽しみにしててください。



雌株のフキノトウ:雄のフキノトウと比べるとはにかんだ印象



拡大した雌花:白い花柱の先がY字状に2裂して伸びている



冠毛の様子:花茎は大きく伸長する(昨年4月高尾山麓)



雄株のフキノトウ:苞が放射状に広がり、花柱の先は丸く不稔